

金沢市女性センター

金沢市男女共同参画推進の拠点施設です

【事業内容】

女性のエンパワーメント事業

女性が「自分らしく生きる」素晴らしさと出会い、充実した毎日を過ごせるよう、男女共同参画の視点で生活に密着した各種講座を実施しています。

貸館事業

女性の自主的な活動の場としての利用に提供しています。詳細はお問い合わせください。



お問い合わせ

金沢市女性センター
〒920-0861 金沢市三社町1番44号(金沢駅より徒歩12分)
TEL 076-223-1265 FAX 076-223-6299

男女共同参画出前講座

男女共同参画に関するテーマで講座等を実施する際に、講師や男女共同参画アドバイザーを派遣します。講師謝礼は金沢市が負担します。※人選は金沢市にお任せください

【講座のメニュー例】(ご相談に応じます)

- ◆ 地域で女性が輝くために
- ◆ 快適な場づくり～セクハラ・パワハラを起こさない～
- ◆ 思いが伝わるコミュニケーション(地域編、家庭編)
- ◆ 娘や孫に伝えたい「女性のための護身術」
- ◆ 自分らしくワーク・ライフ・バランス
- ◆ 紙芝居で学ぼう「男女共同参画」とは?(介護編、子育て編)



- 対象 金沢市内に所在し、活動する企業、団体、グループ等
- 会場 申込み団体がご用意ください。原則として金沢市内。
- 実施回数 1団体3回まで。1回の受講者は、概ね15人以上。

地域女性リーダーセミナー

9月8日、29日の2回にわたり、ITビジネスプラザ武蔵にて、女性町会役員などを対象に、会計実務や町会の活性化に関するセミナーを開催しました。町会活動を進めるにあたって困ったことや、互いの町会の事例などについて、活発な意見交換が行われました。参加者からは「町会の運営について学習できるとてもいい機会だった」、「これからも定期的に意見交換できる場がほしい」との感想がありました。



魅力的な写真の撮り方や効果的なチラシの作り方など情報発信のコツを学びました。

町会活動を活性化し、参加率を高めるにはどうしたらよいかアイデアを出し合いました。



女性社員のシゴト座談会@金沢



女性が活躍できる社会とは、働きたい女性が仕事と子育て・介護等の二者択一を迫られず働き続けることができ、その能力を十分に発揮できる社会のことです。9月に金沢市内で働く女性4名が集まっていたいただき、「働く」をテーマに意見交換を行いました。その様子が「かなざわ輝く女性ポータルサイト」に掲載されています。ぜひご覧ください。市内で活躍している女性をピックアップする「かなざわ女性活躍レポート」も隔月更新中です。



男性も女性も活躍できる職場環境と一緒に考えましょう!



<http://kanazawa-kirakira-woman.com>

女性相談支援室 月～金 9:00～17:00

夫婦問題、離婚などの不安や悩みの相談
配偶者や交際相手からの暴力などの不安や悩みの相談
生活、その他女性の身上相談

問：金沢市女性相談支援室
TEL 076-220-2429 FAX 076-260-1178

女性相談専用電話 076-220-2554

秘密は堅く守られます。

特別相談 女性弁護士による法律相談 毎月第1火曜午後、第3金曜午後
要事前予約 臨床心理士による心の相談 毎月第2木曜午前
カウンセリング 毎週木曜

金沢市男女共同参画都市宣言 平成25年12月16日 金沢市議会議決

私たちのまち金沢は、市民一人ひとりが、歴史と伝統に学び、個性豊かな風格と活力のあるまちづくりを進めてきた。すべての人が性別にかかわらず尊重される社会の実現のためには、市民一人ひとりが互いの違いを認め、あらゆる分野に平等な立場で参画する機会が確保されるとともに、国際社会における取り組みと協調し、連携を深めていくことが重要である。よって、私たちすべての市民は、次代を生きる若者や子供たちが個性と能力を発揮できる未来とするため、男女共同参画都市となることを宣言する。

平成30年12月発行



金沢市男女共同参画

ささえあって 輝いて あなたもわたしも未来へ向かって

るうぷ。

日本女性会議 2018 in 金沢

男女が共に輝く未来に向けて 金沢から新たな一歩を

金沢市 男女共同参画広報誌 2018 VOL.41



お問い合わせはこちらまで
金沢市人権女性政策推進課
076-220-2095

発行：金沢市人権女性政策推進課
〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 TEL 076-220-2095 FAX 076-260-1178
Email: jinkenjosei@city.kanazawa.lg.jp URL: <http://www4.city.kanazawa.lg.jp/22075/danjo/index.html>
編集：子育て向上委員会

日本女性会議 2018 in 金沢を開催しました

10月12日から3日間の日程で開催された日本女性会議 2018 in 金沢は、大盛況のうちに閉幕しました。全国から2000人以上の参加者が集まり、「たたえようこれまでの道 彩ろう未知なる明日」のテーマのもと活発な討議、情報交換、交流が行われました。実行委員、参加者、250人を超えるボランティアなど、多くの力が結集され、金沢から男女共同参画社会の実現に向けて、新たな一歩が踏み出されました。

日本女性会議 2018 in 金沢 大会宣言

- 1 私たちは、強い意志を持ち、これからも継続して男女共同参画の実現に向けてあらゆる課題に取り組みます。
- 2 次の時代を生きる若い世代の一人ひとりが、個人として尊重され、その才能を十分に発揮できる地域づくり、社会づくりに取り組みます。
- 3 SDGs 目標5「ジェンダーの平等」を絶えず意識し、女性を取り巻く世界の動きと連動し、身近な課題にも情熱をもって取り組みます。



1 会場を埋める参加者たち

メイン会場となった金沢歌劇座ホールは、開会から閉会にいたるまで、常にたくさんの参加者が埋め尽くされました。出演者の発言に大きくうなずいて熱心に聞き入ったり、笑ったり、手拍子で応援したり、参加者それぞれが濃密な時間を過ごしました。

2 運営を支えたボランティア

日本女性会議 2018in 金沢の成功は、ボランティアスタッフの存在なくして語れません。会場内外での案内や誘導、シャトルバス等の乗降補助、交流会場での案内、お弁当の配布、場内整理など、心を込めた対応で、大会を盛り上げていただきました。

3 物産展

石川県内の特産品、自慢の逸品を一堂に集めた物産展会場。海産物や和菓子、伝統工芸品、化粧品など幅広い種類の商品が出品され、石川のお土産を買い求める方たちで大変賑わいました。石川の商品の素晴らしさをアピールする出店者と参加者の楽しそうなやりとりが見られました。

4 交流会

男女共同参画社会の実現に向けて各地で活動している仲間たちが一同に集まり、交流を図る絶好の機会とあって、交流会場は満員となりました。会場では、分科会ごとにテーブルを囲み、コーディネーター、パネリストも交えた活発な情報交換が行われ、参加者同士の親交を深めました。

5 金沢の料理

「食」は金沢が全国に誇れるもののひとつです。交流会では、旬の魚を使ったお刺身やお寿司はもちろん、金沢おでん、金沢カレー、加賀野菜てんぷらなどがテーブルに並びました。石川の地酒も用意され、参加者からは「金沢のおもてなしは素晴らしい」との声が多くありました。

6 9会場での分科会

政治への参画、労働環境、貧困と子どもの権利、DV・ハラスメント、性の多様性など、9つのテーマの分科会が、会場を分けて開催されました。いずれの会場でも、コーディネーター、パネリスト、参加者が一体となり、男女共同参画社会を実現するためにはどうしたらよいのか、共に学び、考えました。

7 記念講演

「能の道を歩む〜私の生きがい〜」と題して、宝生流能楽師の松田君子さんによる講演が行われました。講演は、松田さんによる荘厳な能の舞台からスタート。能楽師の家に生まれ、男の子のように育てられたという松田さん。男性主導の能楽界でどのように人生を歩んできたのか、悩んだ日々の道のりと、これからの挑戦を語っていただきました。

8 アトラクション

創部 87 年を迎える遊学館高校の吹奏楽部が、美しく色彩豊かな演奏で、会場を大いに沸かせました。力強いサウンドと動きが織りなす舞台の美しさ、高校生が作り出す素晴らしいパフォーマンスに、会場は魅了され、割れるような拍手とアンコールの声があげられました。

9 記念シンポジウム

「これからの生き方・働き方のカタチ」と題して、内科医のおおたわ史絵さんによる講演会が開催されました。昨今の医学部入試における女子抑制問題にも言及し、医療分野での女性の立場について意見を述べました。自身の新しいチャレンジにも触れ「ブレーキを踏みすぎているのは自分、アクセルを踏むのも自分」と会場を勇気づけました。

10 笑顔

秋の晴天に恵まれた3日間、会場内外のあらゆる場所で、参加者やボランティアスタッフの笑顔に出会えました。金沢歌劇座ホールの入り口近くに設置したパネルの前では、記念撮影に並ぶ人の列が切れ目なく続いていました。最後は「また来年会いましょう!」と、別れを惜しみながらも笑顔があふれていました。